

2020年5月19日

報道関係者各位

三井不動産株式会社
KDDI株式会社

三井不動産とKDDI、 5Gを活用したオフィスビルのDXを目指し、基本合意書を締結

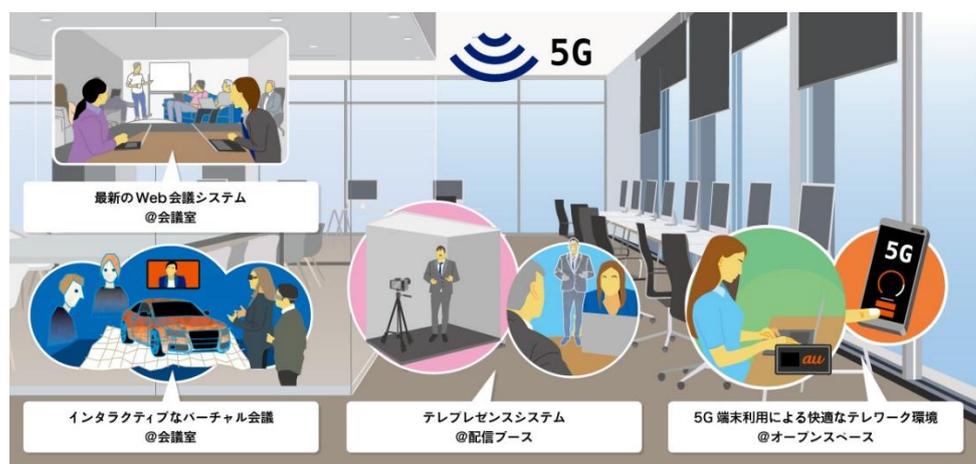
～オフィスビルの課題解決や働き方改革を促進するオフィスソリューションの提供に向けた取り組みを開始～

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 菰田正信、以下「三井不動産」)とKDDI株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 高橋誠、以下「KDDI」)は、第5世代移动通信システム「5G」(以下「5G」)を活用したオフィスビルのデジタルトランスフォーメーション(DX)を目指し、2020年4月に基本合意書を締結しました。今後、オフィスビルの課題解決や働き方改革を促進するオフィスソリューションの提供に向けた取り組み(以下「本事業」)を開始します。

なお本事業は、KDDI本社やKDDI DIGITAL GATE(注1)における実証実験から開始し、2021年4月を目途に日本橋室町三井タワーをはじめとした『三井のオフィス』にて5Gのネットワーク環境を構築します。



日本橋室町三井タワー



オフィスソリューションイメージ

5Gは、「高速・大容量、低遅延、多接続」を特長としており、リアルタイム性や安定性が求められるオフィスビルにおいて、より高精細で大容量のデータ通信を安定的に行うことが可能です。また、新型コロナウイルスの影響によりBCPの観点から、テレワーク(情報通信技術を利用した場所や時間にとらわれない働き方)がより一層求められており、5Gなどの情報通信技術を活用することにより、テレワークと組み合わせたオフィス利用者の柔軟な働き方を促進することが可能となります。

両社は、三井不動産の持つ「場と機会」と、KDDIの持つ「技術基盤」を融合することで、5Gを活用した快適なテレワークやインタラクティブなバーチャル会議などのソリューションを構築しオフィスビルのDXを図っていきます。さらに、両社の社員や対象の『三井のオフィス』に勤める利用者などが実際に5Gを利用できる環境を整え、利用者の意見を取り入れながら新たなワークスタイルの創造を通じて、さらなる付加価値の提供とビジネスモデルの創出を目指します。

■ 5G を活用したオフィスソリューション(予定)

5G 端末利用による快適なテレワーク環境の構築
最新の Web 会議システム
インタラクティブなバーチャル会議システム
テレプレゼンスシステム(注 2)

■ 5G を導入し、実証実験を行う拠点

日本橋室町三井タワー 11 階(三井不動産執務室)
日本橋室町三井タワー 5 階(テナント向け会員制施設 mot.内(注 3))
日本橋高島屋三井ビルディング 10 階(テナント向け会員制施設 mot.内)
ガーデンエアタワー(KDDI 本社)
虎ノ門ツインビルディング(KDDI DIGITAL GATE 内)

(注 1) お客様の DX を支援する、KDDI の 5G ビジネスの開発拠点

(注 2) 利用者に対して、遠隔地にいる人とまるでその場に一緒にいるかのように感じさせる技術(例: 講演の生配信)

(注 3) 「三井のオフィス for Tomorrow/Mitsui Office for Tomorrow」の略称

■ 参考(本事業以外での 5G に関する両社の取り組みについて)

三井不動産と KDDI は、以下の取り組みも進めています。

(1) 東急、パルコ、バイクルーズら 32 社が参画「渋谷 5G エンターテイメントプロジェクト」始動

(2020 年 1 月 24 日 KDDI 報道発表)

<https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2020/01/24/4244.html>

KDDI は、三井不動産など 32 社・団体とともに、5G を活用して渋谷区が推進する創造文化都市事業への貢献を目的とした「渋谷 5G エンターテイメントプロジェクト」を 2020 年 1 月 24 日より始動しています。

(2) スタートアップのための事業支援プログラム「5G for Startups」および事業共創プログラム「∞の翼」を新たに開始
(2020 年 3 月 24 日 KDDI 報道発表)

<https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2020/03/24/4340.html>

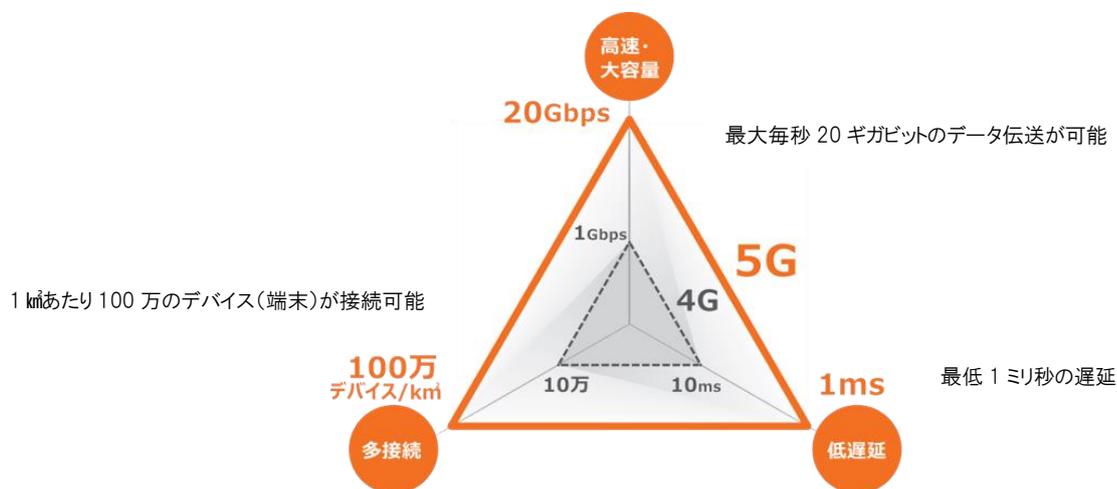
KDDI が 3 月 24 日に開催した「MUGENLABO DAY 2020」において、スタートアップと大企業の事業共創を目指す「∞の翼～事業共創プログラム～」にて、「商業施設の運営効率化や新たなお客様体験の創出」をテーマに、三井不動産がオープンイノベーションの募集を実施。無人警備ロボットを提供する SEQSENSE 社の採択を発表しています。

<別紙>

■5Gの特長

5Gとは、「高速・大容量、低遅延、多接続」が実現され、人が持つデバイスからIoTまで、これらの能力を柔軟に組み合わせながら幅広いニーズに対応できる、第5世代移動通信システムです。

<5G 特長イメージ>



■『三井のオフィス』の取り組みについて

三井不動産では近年、社会的に働き方の多様化が求められているなか、誰もが自分のカラーを活かして働けるよう、「COLORFUL WORK PROJECT」をスローガンに様々な取り組みを行っています。これら取り組みを通じて『三井のオフィス』をご利用の皆様が単に「働く」というだけでなく、様々な On Time/Off Time を過ごし、集う、そんな”新しい生活”の場を提供してまいります。

COLORFUL WORK PROJECT

三井のオフィス



■三井不動産のデジタルトランスフォーメーション(DX)への取組

三井不動産の長期経営方針「VISION 2025」で掲げた「テクノロジーを活用し、不動産業そのものをイノベーション」を実現すべく、「事業変革」「働き方改革」「システム先進化」の3つの軸でグループ全体のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進しています。2019年にはDXの推進に積極的に取り組む企業として、経済産業省及び東京証券取引所より「攻めのIT 経営銘柄 2019」に選定されました。2020年4月にはDXの取組強化のため「IT イノベーション部」を本部化し「DX 本部」を創設、グループ全体のDXを推進していきます。

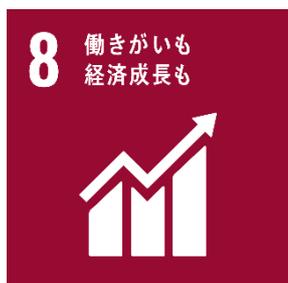
■三井不動産グループのSDGsへの貢献

https://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/esg_csr/?id=global

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわち ESG 経営を推進しています。当社グループの ESG 経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。

※なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における3つの目標に貢献しています。

目標 8 働きがいも経済成長も
目標 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
目標 11 住み続けられるまちづくりを



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**